

令和2年度第1回 福知山市立図書館協議会 議事録（要旨）

開催日時：令和2年6月23日18時58分～20時45分

開催場所：市民交流プラザふくちやま 会議室4-1

出席委員：神谷委員長、仲野副委員長、赤井委員、足立委員、正木委員、安川委員、
善積委員、木村委員、芦田信委員、芦田敦委員、西村委員

欠席委員：山路委員

事務局：端野教育長、前田教育部長、浅田館長、森本次長、大槻次長、塩谷係長

傍聴者：なし

- 議題：（1）令和元年度図書館事業報告について
（2）令和2年度図書館事業方針及び予算について
（3）「第2次福知山市子どもの読書活動推進計画」について
（4）その他（報告事項等）
- ①新型コロナウイルス感染症対策にかかる図書館の対応状況について
 - ②雑誌スポンサー制度について
 - ③図書館協議会の年間開催予定について

1 委嘱状の交付

2 教育長挨拶：端野教育長

3 委員自己紹介

4 福知山市立図書館について

～資料1に基づき、事務局から説明～

事務局：福知山市立図書館は、中央館と三和分館・夜久野分館・大江分館の4館があります。館ごとに表情が異なり、それぞれの地域に関わる郷土資料の収集・保存に力を入れています。各館が工夫を凝らしたおはなし会などのイベントを通じて、地域の皆様に親しんでいただける図書館づくりを目指しています。

5 図書館協議会について

～資料2に基づき、事務局から説明～

事務局：図書館協議会は、図書館の運営について館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行なう図書館奉仕につき館長に対して意見を述べる機関です。福知山市民の代表である委員の皆様は、図書館の運営や図書館が行う事業等についての御意見をいただくため、図

書館協議会を年3回開催します。

6 委員長及び副委員長の選出

○委員長 神谷 達夫 委員

○副委員長 仲野 恵子 委員

委員の互選により決定

7 委員長及び副委員長 就任挨拶

5 協議事項

(1) 令和元年度図書館事業報告について

～資料3に基づき事務局から説明～

事務局：図書館中央館の運営について、年度末に発生した新型コロナウイルス感染拡大による臨時休館等の影響もあり、年間利用者数や貸出冊数が大きく減少しました。

資料等の整備は、佐藤八重子子ども読書活動振興基金を活用し、資料の整備を計画的に行うとともに、雑誌スポンサー制度では83誌について、スポンサーのご協力をいただきました。

新たなサービス等に関しては、開館5周年を記念して公開した「明智光秀コレクション」とともに、関連事業を多く実施しました。また、「図書館利用者アンケート」を実施したほか、新たなイベントや取組みを数多く実施しました。

委員：統計に関して、移動図書館うぐいす号の実績は載せていないのですか。

事務局：今回は昨年度実績のうち、中央館の概要のみ報告を行いました。全体的な実績については、中央館や各分館での様々な行事や実績を載せた冊子「図書館年報」により、第2回協議会の場で報告を行います。

委員：利用者アンケートについて、「今後の改善に繋げるために」とあるが、具体的に何か変化したことはありますか。

事務局：利用者アンケートの結果については、昨年度第2回の協議会で単純集計の報告を行ったところです。さらに詳細な分析を行うにあたり、専門的な知識をお持ちの神谷委員長にご教示を仰ぎながら、今後どのように生かすかの部分も含めて、引き続き分析を進めていきたいと考えています。

委員長：分析結果の内容について、この協議会の場で話し合う機会はありますか。

事務局：今後の協議会の場での報告を考えています。

委員：「雑誌スポンサー制度」について、説明をお願いします。

事務局：本制度は、スポンサーに雑誌の購入費用を負担いただき、提供いただいた雑誌と書棚に広告を掲載する制度です。スポンサーとして民間事業者の協力を得ることで、雑誌コーナーの充実を図り、市民の図書館利用サービスに寄与することを目的としています。図書館中央館では平成30年10月より制度を開始し、芦田敦嗣委員様にもアークホテ

ル様としてご協力をいただいているところであり、本日現在の広告雑誌数は84誌、スポンサー数34者となっており、府内で同制度を実施する図書館の中では最多となっています。これまで中央館のみで実施していましたが、三和・夜久野・大江の三分館でも7月1日から開始する予定としています。

委員：英語以外の外国語絵本リストについて、多い言語は何ですか。

事務局：具体的な内訳は即答できないが、外国籍の方からのニーズが増えており、これまで所蔵していなかった言語の絵本を新たに購入して増強を行いました。外国語の絵本コーナーには、英語に特化したリストとともに常時リストを置き、利用者に見ていただけるようにしています。

(2) 令和2年度図書館事業方針及び予算について

～「資料4」に基づき、事務局から説明～

事務局：図書館は新型コロナウイルス感染拡大の影響により長らく休館していましたが、現在は座席数を減らして開館し、日々除菌作業を行っています。このような状況だからこそ、子どもも大人も、心身のストレスの緩和や心のケア、また学びの基礎としても本の力、読書の力を発揮すべき時だと感じています。「新しい生活様式」と言われる中で、これまで本に縁がなかった方にも、本と出会っていただけるような取り組みを進めて、より一層、市民に愛される図書館を目指していきたいと考えています。委員の皆様方におかれましても、中央館に限らず各分館にもお運びいただき、お気づきの点など遠慮なくお聞かせください。この協議会の場も、活発な意見交換ができる場としていきたいと考えています。

今年度の事業方針は、教育委員会発行の「令和2年度社会教育の重点」中の「図書館活動の推進」に掲載されている、『暮らしを豊かにし、知的文化の拠点となる図書館の推進』であり、図書館が今年度進むべき道として考えています。さらに資料に掲載のとおり、5項目を具体的な目標としています。

今年度の具体的な重点目標として、「子どもの読書活動推進計画策定事業」「障がい者サービスの向上・充実」の2点を掲げています。

続けて、今年度の図書館予算について、図書館の運営にかかる経費として6事業ございます。またWindows7のサポート終了に伴うシステムの更新経費は昨年度限りの事業であり、今年度は三和分館の空調設備改修と、新たな子どもの読書活動推進計画策定の2項目が新規事業となっています。

また、新型コロナウイルス感染症対策として国からの交付金活用が各自治体に示されており、図書館としても、その交付金を活用して何かできないかと検討しているところであり、詳細が決まり次第、この協議会で報告したいと考えています。

(3) 「第2次福知山市子どもの読書活動推進計画」について

事務局：本計画は平成28年2月に策定されたもので、計画策定の際には、神谷委員長、仲

野副委員長に策定委員として携わっていただきました。今年度は計画の5年目であり、最終年度となります。これまでの4年間で様々な取り組みを多数実施してまいりました。基本方針として、「読書の楽しさを広げる」「読書をとおして学ぶ力、考える力、判断する力を身に着ける」「生きる力を培い、福知山市の教育目標である『自分のために 人のために 社会のために ともに幸せを生きる』人材の育成を目指す』ことを目標として策定しました。子どもを中心に、図書館だけでなく小学校、中学校、幼稚園、保育園、保護者の方、ボランティアの方、保健センター、放課後児童クラブ、児童館など、子どもを取り巻く環境が皆で一丸となり、子どもにより良い本や、読書の楽しみを届ける取り組みを続けていこうと策定したものです。

事業報告については、この協議会で前年度の報告を行っています。現在、庁内組織である「子どもの読書活動推進連絡会」を通して、各部署で昨年度の実績報告を取りまとめてもらっています。令和元年度の実績報告については、第2回図書館協議会において報告いたします。

現在、第3次計画の策定に向けて準備を進めているところであり、これまでの4年間の取り組みを振り返りながら、策定委員の皆様のお知恵をお借りして、次の5年間の計画策定を行ってまいります。

第2回協議会では、第3次計画の策定経過や、令和元年度までの実績を委員の皆様にご報告してご意見を賜り、頂いたご意見を第3次計画の策定委員に伝えて、より良い計画とするために盛り込んでいきたいと考えております。

委員：策定委員の選任はどのように行われていますか。

事務局：各方面に推薦を依頼するなど、委員の選任を進めているところです。

(4) その他（報告事項等）

①新型コロナウイルス感染症対策にかかる図書館の対応状況について

～資料に基づき、事務局から説明～

事務局：これまでの経過として、出来事や市の動き、図書館の動き等の状況を時系列にまとめたものを配布しております。図書館の主な動きは、次のとおりです。

○3月10日 図書館臨時休館（3月27日まで）

- ・臨時休館中のサービス①「予約貸出」を実施
- ・臨時休館中のサービス②「貸出セット」を実施 臨時休校中に見守りを行う小学校や放課後児童クラブ等へ、本や児童書を50冊セットにして貸出（約3,000冊）

○3月28日 図書館サービスを一部再開 開館条件：貸出・返却のみ

○4月18日 2度目の臨時休館（来館サービスの全てを停止） ※緊急事態宣言による

○5月20日 図書館サービスを一部再開 ※緊急事態宣言の一部解除

- ・開館条件：貸出と返却のみ、中央館は18時まで、ソーシャルディスタンス保つ

- 5月26日 席数を制限して閲覧席の利用を再開
- 6月2日 中央館の開館時間を変更（平日20時まで）
- 6月24日 図書館イベントの再開

・中央館「おはなしのひろば」を7組限定で申込制により、2階研修室で開催
図書館イベントの再開について、コロナ対策を講じながら、分館でもおはなし会を順次再開していきます。当初は図書館職員によりおはなし会を行い、様子を見ながら順次、ボランティアの皆様にもご参加いただきたいと考えております。

来館者について、開館初日は一斉に来館されましたがその後減少し、少しずつ平常に戻りつつあると思われまます。現在も座席は間隔をとり約半数としており、先週日曜日はほぼ満席となり座れない学生も若干おられたが、ソーシャルディスタンスを保つため当面はこのままとしたいと考えています。

現在行っている利用者の皆様への安心安全のための取り組みは、次のとおりです。

- 別紙資料「利用者の皆様へ」に記載されている事項
- 利用者が触った本を入れる箱を随所に設置
 - ・定期的に職員が回収し、表面を拭き取った後に書架へ戻し感染防止に努めている。
- 「連絡票」を利用者が自主的に記入

以上の取り組みについて、来館される皆様にご協力いただいているところであり、現時点ではもうしばらく続けることとしています。

また、7月3日に開催される府内図書館の館長会議の場で他館の状況も確認しながら、今後の状況を考えていかねばならないと思っています。

委員：「おひさまと風の子サロン」には、絵本をたくさん置いています。本に直接スプレーすると湿るが、図書館では本の消毒をどのようにされているのか、教えていただきたい。

事務局：図書館の本は、表紙にブッカーというフィルム状のカバーがかかっており、消毒液を使用して拭き取りができるようになっています。

②雑誌スポンサー制度について

（事業報告の際に説明済み）

事務局：先程ご質問いただいた「外国語の絵本リスト」の内訳について、説明いたします。

英語は385冊、英語以外は74冊をリスト化しています。英語以外の内訳は、中国語・ベトナム語が各7冊、韓国語・ドイツ語・ポルトガル語が各6冊、スペイン語・フランス語・インドネシア語・タガログ語が各5冊、という形でリスト化しております。

昨年度、特集展示を行い新聞にも掲載いただきました。また外国籍の方が土日に多く来られる児童館にも、この絵本リストを配布し周知に努めています。

委員：外国語の絵本は今後、増強される予定はありますか。

事務局：今後においても毎年数冊ずつ、整備していきたいと考えています。

委員：外国籍の方のお子さんなど、借りたいという要望が多いですか。

事務局：様々な国の方が仕事の関係等で福知山に来られており、中央館に来館され外国語の絵本について尋ねられることもしばしばあったことから、昨年度に外国語の絵本リストを作成し、外国語絵本の追加購入にも繋がりました。今後も継続していきたいと考えています。

③協議会の年間開催予定について

事務局：資料2に図書館協議会の説明資料中に、昨年度の開催日程が記載されています。第1回を6月、第2回を11月、第3回を3月開催しており、本年度もほぼ同じ日程により、年3回の協議会を開催する予定としています。

委員：昨年度以前はこの3回以外にも開催されていたが、今後は開催されますか。

事務局：一昨年以前には協議会とは別に、自主研修会を開催しておりました。委員様から研修テーマを出していただき、学習会を開催したいとの要望があれば、開催は可能です。

委員：委員の皆さんの意見をより出してもらえるようにするには、協議会だけでは不足するのではと思います。

委員：以前、夜久野分館で開催した研修会は勉強になりました。コロナの影響でイベントを極力避けねばならないこともあるが、状況が落ち着けば一緒に考えたい。

事務局：研修テーマ等の案を出していただければ、事務局で開催準備は行います。ただし、自主研修会のため、無報酬となりますことをご了承ください。

6 閉会挨拶：神谷委員長